

世界標準債券ファンド 〈愛称 ニューサミット〉

運用報告書（全体版）

第137期（決算日 2021年8月17日）第139期（決算日 2021年10月18日）第141期（決算日 2021年12月17日）
第138期（決算日 2021年9月17日）第140期（決算日 2021年11月17日）第142期（決算日 2022年1月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「世界標準債券ファンド」は、2022年1月17日に第142期の決算を行ないましたので、第137期から第142期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2010年3月18日から2030年1月17日までです。
運用方針	主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券（国債、州政府債、政府保証債、国際機関債などをいいます。）を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<641251>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%	%	%	百万円	
113期(2019年8月19日)	3,701		40	△ 2.0		—	98.5	9,741	
114期(2019年9月17日)	3,725		40	1.7		—	98.8	9,707	
115期(2019年10月17日)	3,765		40	2.1		—	99.0	9,701	
116期(2019年11月18日)	3,758		40	0.9		—	98.5	9,508	
117期(2019年12月17日)	3,785		40	1.8		—	98.4	9,433	
118期(2020年1月17日)	3,846		40	2.7		—	98.5	9,477	
119期(2020年2月17日)	3,850		40	1.1		—	98.5	9,370	
120期(2020年3月17日)	3,198		40	△15.9		—	98.4	7,706	
121期(2020年4月17日)	3,125		40	△ 1.0		—	98.5	7,499	
122期(2020年5月18日)	3,197		40	3.6		—	98.5	7,678	
123期(2020年6月17日)	3,375		40	6.8		—	98.5	8,102	
124期(2020年7月17日)	3,330		40	△ 0.1		—	98.5	7,973	
125期(2020年8月17日)	3,311		40	0.6		—	98.5	7,897	
126期(2020年9月17日)	3,290		40	0.6		—	98.5	7,817	
127期(2020年10月19日)	3,262		40	0.4		—	98.5	7,736	
128期(2020年11月17日)	3,307		40	2.6		—	98.2	7,766	
129期(2020年12月17日)	3,342		40	2.3		—	98.5	7,758	
130期(2021年1月18日)	3,353		20	0.9		—	98.4	7,733	
131期(2021年2月17日)	3,369		20	1.1		—	98.5	7,658	
132期(2021年3月17日)	3,301		20	△ 1.4		—	98.4	7,427	
133期(2021年4月19日)	3,320		20	1.2		—	98.6	7,402	
134期(2021年5月17日)	3,372		20	2.2		—	98.6	7,437	
135期(2021年6月17日)	3,379		20	0.8		—	98.3	7,377	
136期(2021年7月19日)	3,317		20	△ 1.2		—	98.6	7,172	
137期(2021年8月17日)	3,286		20	△ 0.3		—	98.5	7,057	
138期(2021年9月17日)	3,294		20	0.9		—	98.5	7,015	
139期(2021年10月18日)	3,382		20	3.3		—	98.4	7,097	
140期(2021年11月17日)	3,320		20	△ 1.2		—	98.3	6,861	
141期(2021年12月17日)	3,268		20	△ 1.0		—	98.6	6,675	
142期(2022年1月17日)	3,269		20	0.6		—	98.3	6,613	

(注) 標準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

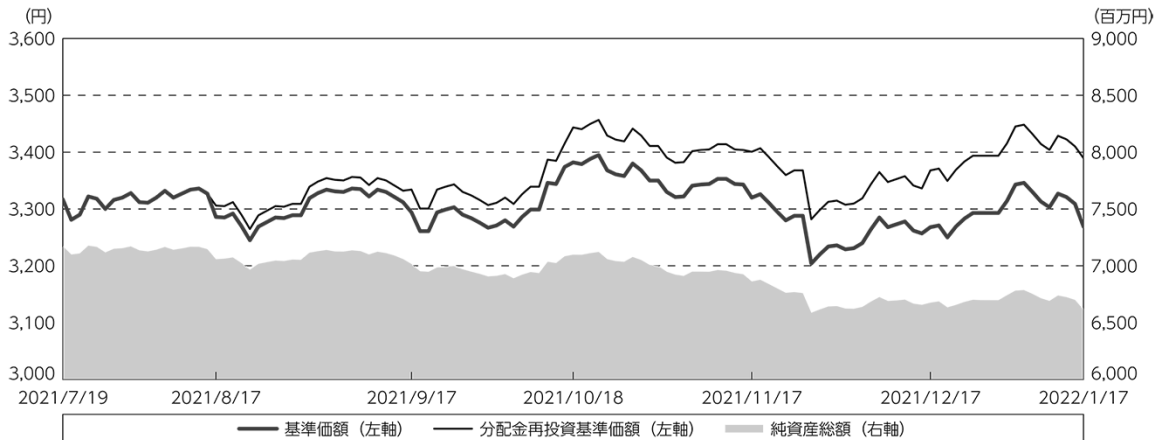
決算期	年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 組 入 比 率
			騰 落 率	率	
第137期	(期 首) 2021年 7月19日	円 3,317		% —	% 98.6
	7月末	3,320		0.1	98.6
	(期 末) 2021年 8月17日	3,306		△0.3	98.5
第138期	(期 首) 2021年 8月17日	3,286		—	98.5
	8月末	3,289		0.1	98.7
	(期 末) 2021年 9月17日	3,314		0.9	98.5
第139期	(期 首) 2021年 9月17日	3,294		—	98.5
	9月末	3,284		△0.3	98.7
	(期 末) 2021年10月18日	3,402		3.3	98.4
第140期	(期 首) 2021年10月18日	3,382		—	98.4
	10月末	3,350		△0.9	98.4
	(期 末) 2021年11月17日	3,340		△1.2	98.3
第141期	(期 首) 2021年11月17日	3,320		—	98.3
	11月末	3,220		△3.0	98.2
	(期 末) 2021年12月17日	3,288		△1.0	98.6
第142期	(期 首) 2021年12月17日	3,268		—	98.6
	12月末	3,314		1.4	98.3
	(期 末) 2022年 1月17日	3,289		0.6	98.3

(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

○運用経過

(2021年7月20日～2022年1月17日)

作成期間中の基準価額等の推移



第137期首：3,317円

第142期末：3,269円 (既払分配金(税込み)：120円)

騰落率：2.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2021年7月19日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えるとみられる国や地域の通貨建てのソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券からの金利収入を得たこと。
- ・カナダドル、メキシコペソ、インドネシアルピアなどの投資対象通貨が対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・メキシコ、カナダ、インドネシアなどの債券利回りが上昇(債券価格は下落)したこと。

投資環境

(海外債券市況)

新型コロナウイルスのワクチン接種率は引き続き世界的に向上しているものの、オミクロン株によって新たな不確実性が高まっています。経済活動への影響は時間の経過とともに低下すると予想されるものの、金融市場のセンチメントに引き続き影響を与えるとみられます。人の移動や個人消費の増加を通じての経済正常化への回帰がより持続的な物価上昇圧力につながっており、気候変動による異常気象現象に関連して生じるさまざまなサプライチェーンの混乱がこれに拍車をかけています。こうした状況から、金融政策の正常化を余儀なくされる新興国市場の中央銀行が増加しています。世界的に経済成長が鈍化している状況下で、新興国市場の相対的に高い経済成長が、依然として投資家を惹きつける要因となる可能性が高いとみています。国際通貨基金（IMF）による世界経済見通しでは、2021年および2022年のいずれも新興国市場が再び先進国市場を上回るペースで経済成長を遂げると予想されています。コストプッシュインフレ（原材料費や賃金の急激な上昇により引き起こされる物価上昇）圧力の上昇リスクを踏まえて、多くの新興国の中央銀行は金融政策の正常化を進めています。新興国の中央銀行は先取りして正常化に取り組んでおり、新興国市場ではインフレ期待が引き続き抑制され、先進国市場に比較してより魅力的な実質利回りが提供されるようになるとみられます。新興国通貨はバリュエーション（価値評価）が依然として魅力的な水準であり、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が収束しリスク選好姿勢が回復すれば、新興国債券市場のパフォーマンスを押し上げる要因になる可能性があると考えられます。

カナダでは、新型コロナウイルスの1日当たり新規感染者数が再び増加していますが、入院患者数や死亡者数は依然抑制されています。労働市場の需給は引き続き引き締まった状況にあり、労働参加率が安定的に推移しフルタイムとパートタイムの雇用者数がいずれも大幅に増加するなかで、失業率は低下しています。カナダ中央銀行は量的緩和による債券の追加買入れを終了し、今後は満期を迎える国債の再投資のみにより現在の国債保有残高を維持することを決定しています。また、利上げ開始の条件が整う時期を2022年4-9月期に前倒しました。これを受けて、金利見通しが急激に見直され、金利カーブの短期ゾーンには利上げが織り込まれています。カナダ中央銀行は、政策枠組みの見直しで今後5年間のインフレ目標を2%に維持しましたが、「持続可能な最大雇用を支えるために」上振れを容認するとしました。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.04%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.12%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.09%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

メキシコペソについては、高利回り、財政の規律、魅力的な通貨のバリュエーション、良好な国際収支が相まって優位な状況にあり、引き続きポジティブな見方をしています。メキシコは米国の供給網にとって重要な製造ハブであることから、米国・メキシコ・カナダ協定（USMCA）において独自の立場にあり、メキシコペソは他の新興国通貨に対して際立っています。米国のバイデン政権のもとで積極的な財政出動が見込まれるなか、国内への多くの送金や消費者の堅調な輸入需要がともに引き続きメキシコペソの追い風になると考えられます。

インドネシアルピアについては、引き続きインフレに対して魅力的な利回り水準を提供していることから、ポジティブな見方を維持しています。インドネシアは世界のコモディティ需要の高まりからも大きな恩恵を受けられる立場にあり、特に中国とオーストラリアとの間の外交関係が悪化するなか、石炭と液化天然ガス（LNG）の両方で市場シェアを拡大できる可能性があります。また、オムニバス法の可決は、国外からの参入障壁を引き下げ、労働の柔軟性を向上させることから、同国への構造的な外国直接投資を惹きつけることが期待されています。

先進国通貨のなかでは、実質実効為替レートベースで最も割安な部類にあることから、カナダドルを引き続き選好しています。原油価格の見通しについては、世界で新型コロナウイルスのワクチン接種が実施され国際的な往来の再開が見込まれることから、楽観的な見方を維持しています。また、中国と米国およびオーストラリアとの間の緊張の高まりは、対立問題の構造的な特性を踏まえると、継続する可能性があります。供給網の分断が一段と進む可能性があり、米国の需要がもたらされるなか、メキシコとカナダ両国の経済にとって追い風となります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2021年7月20日～ 2021年8月17日	2021年8月18日～ 2021年9月17日	2021年9月18日～ 2021年10月18日	2021年10月19日～ 2021年11月17日	2021年11月18日～ 2021年12月17日	2021年12月18日～ 2022年1月17日
当期分配金 (対基準価額比率)	20 0.605%	20 0.604%	20 0.588%	20 0.599%	20 0.608%	20 0.608%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	290	294	300	303	307	310

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA)

現在の戦略は、外的要因に大きく左右されることのない強固なストーリーに注目しています。中期的には、先進国の金融政策が緩和的に維持される見込みであり、新興国が先進国の成長を上回るなか、新興国と先進国との間で成長の乖離が再び拡大すると見られることから、新興国市場に対して強気な見方を維持しています。

インフレ率に対して金利が高く実質的なインカムの創出が高水準である市場、通貨のバリュエーションが魅力的な水準にあり長期的に上昇が見込まれる市場、構造改革に下支えされた長期的な成長ポテンシャルがある市場、制度的な信頼が強固である市場に着目し、引き続き積極的に新規投資機会を追求していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2021年7月20日～2022年1月17日)

項 目	第137期～第142期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 19	% 0.570	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(7)	(0.197)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(12)	(0.356)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.014	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(0)	(0.012)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	19	0.584	
作成期間の平均基準価額は、3,296円です。			

(注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

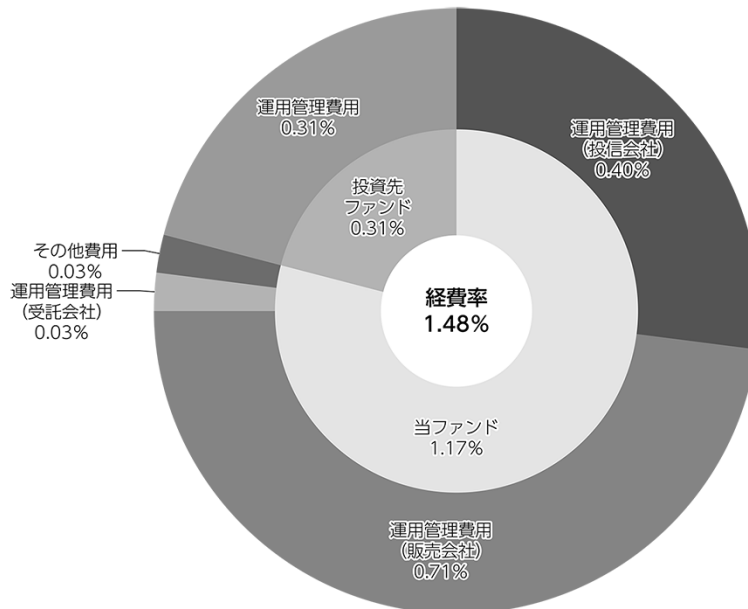
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.48%です。



(単位:%)

経費率(①+②)	1.48
①当ファンドの費用の比率	1.17
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.31

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年7月20日～2022年1月17日)

投資信託証券

銘 柄		第137期～第142期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国内	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA	千口 56,449	千円 20,158	千口 1,232,368	千円 449,160

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄		第137期～第142期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
	マネー・アカウント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 677	千円 679

○利害関係人との取引状況等

(2021年7月20日～2022年1月17日)

利害関係人との取引状況

<世界標準債券ファンド>

区 分	第137期～第142期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
投資信託証券	百万円 20	百万円 20	100.0	百万円 449	百万円 449	100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2021年7月20日～2022年1月17日）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年7月20日～2022年1月17日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2022年1月17日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第136期末	第142期末		
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA		19,231,483	18,055,563	6,500,002	98.3
合	計	19,231,483	18,055,563	6,500,002	98.3

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	第136期末	第142期末	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		7,277	6,599	6,615

(注) 親投資信託の2022年1月17日現在の受益権総口数は、920,713千口です。

○投資信託財産の構成

(2022年1月17日現在)

項 目	第142期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	6,500,002	97.5
マネー・アカウント・マザーファンド	6,615	0.1
コール・ローン等、その他	163,301	2.4
投資信託財産総額	6,669,918	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第137期末	第138期末	第139期末	第140期末	第141期末	第142期末
	2021年8月17日現在	2021年9月17日現在	2021年10月18日現在	2021年11月17日現在	2021年12月17日現在	2022年1月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	7,116,531,674	7,086,514,699	7,161,809,438	6,937,409,414	6,731,561,688	6,669,918,542
コール・ローン等	159,104,891	166,045,896	167,321,827	159,240,058	144,856,739	141,491,827
投資信託受益証券(評価額)	6,950,332,103	6,913,426,751	6,987,603,201	6,744,301,760	6,580,089,772	6,500,002,820
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	7,094,680	7,042,052	6,884,410	6,884,410	6,615,177	6,615,177
未収入金	—	—	—	26,983,186	—	21,808,718
(B) 負債	58,952,936	70,739,840	64,184,865	75,451,375	56,181,844	56,038,710
未払収益分配金	42,950,971	42,593,725	41,968,149	41,338,957	40,850,352	40,463,865
未払解約金	8,520,295	20,146,007	14,186,257	26,148,850	7,508,974	7,385,809
未払信託報酬	6,495,239	6,877,148	6,774,674	6,579,301	6,315,185	6,519,719
未払利息	83	22	120	79	77	76
その他未払費用	986,348	1,122,938	1,255,665	1,384,188	1,507,256	1,669,241
(C) 純資産総額(A-B)	7,057,578,738	7,015,774,859	7,097,624,573	6,861,958,039	6,675,379,844	6,613,879,832
元本	21,475,485,895	21,296,862,666	20,984,074,777	20,669,478,954	20,425,176,468	20,231,932,803
次期繰越損益金	△14,417,907,157	△14,281,087,807	△13,886,450,204	△13,807,520,915	△13,749,796,624	△13,618,052,971
(D) 受益権総口数	21,475,485,895口	21,296,862,666口	20,984,074,777口	20,669,478,954口	20,425,176,468口	20,231,932,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,286円	3,294円	3,382円	3,320円	3,268円	3,269円

(注) 当ファンドの第137期首元本額は21,626,764,639円、第137～142期中追加設定元本額は188,532,330円、第137～142期中一部解約元本額は1,583,364,166円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第137期0.3286円、第138期0.3294円、第139期0.3382円、第140期0.3320円、第141期0.3268円、第142期0.3269円です。

(注) 2022年1月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は13,618,052,971円です。

○損益の状況

項 目	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
	2021年7月20日～ 2021年8月17日	2021年8月18日～ 2021年9月17日	2021年9月18日～ 2021年10月18日	2021年10月19日～ 2021年11月17日	2021年11月18日～ 2021年12月17日	2021年12月18日～ 2022年1月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	57,281,071	56,962,877	56,173,720	55,240,078	54,731,792	54,305,965
受取配当金	57,282,865	56,964,248	56,174,531	55,241,707	54,733,632	54,306,777
受取利息	-	-	-	-	-	14
支払利息	△ 1,794	△ 1,371	△ 811	△ 1,629	△ 1,840	△ 826
(B) 有価証券売買損益	△ 72,469,017	9,557,900	177,610,853	△ 136,430,417	△ 112,879,015	△ 5,493,236
売買益	180,801	9,973,978	178,288,336	1,259,030	1,352,139	602,618
売買損	△ 72,649,818	△ 416,078	△ 677,483	△ 137,689,447	△ 114,231,154	△ 6,095,854
(C) 信託報酬等	△ 6,647,838	△ 7,038,710	△ 6,933,838	△ 6,733,872	△ 6,463,548	△ 6,705,983
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 21,835,784	59,482,067	226,850,735	△ 87,924,211	△ 64,610,771	42,106,746
(E) 前期繰越損益金	△ 7,562,857,251	△ 7,553,169,354	△ 7,415,129,550	△ 7,111,767,666	△ 7,145,361,497	△ 7,171,771,610
(F) 追加信託差損益金	△ 6,790,263,151	△ 6,744,806,795	△ 6,656,203,240	△ 6,566,490,081	△ 6,498,974,004	△ 6,447,924,242
(配当等相当額)	(555,121,521)	(550,602,913)	(542,622,966)	(534,608,935)	(528,419,543)	(523,562,835)
(売買損益相当額)	(△ 7,345,384,672)	(△ 7,295,409,708)	(△ 7,198,826,206)	(△ 7,101,099,016)	(△ 7,027,393,547)	(△ 6,971,487,077)
(G) 計(D+E+F)	△ 14,374,956,186	△ 14,238,494,082	△ 13,844,482,055	△ 13,766,181,958	△ 13,708,946,272	△ 13,577,589,106
(H) 収益分配金	△ 42,950,971	△ 42,593,725	△ 41,968,149	△ 41,338,957	△ 40,850,352	△ 40,463,865
次期繰越損益金(G+H)	△ 14,417,907,157	△ 14,281,087,807	△ 13,886,450,204	△ 13,807,520,915	△ 13,749,796,624	△ 13,618,052,971
追加信託差損益金	△ 6,790,263,151	△ 6,744,806,795	△ 6,656,203,240	△ 6,566,490,081	△ 6,498,974,004	△ 6,447,924,242
(配当等相当額)	(555,121,521)	(550,602,913)	(542,622,966)	(534,608,935)	(528,419,543)	(523,562,835)
(売買損益相当額)	(△ 7,345,384,672)	(△ 7,295,409,708)	(△ 7,198,826,206)	(△ 7,101,099,016)	(△ 7,027,393,547)	(△ 6,971,487,077)
分配準備積立金	68,061,981	75,739,255	87,061,024	92,801,536	98,993,212	105,050,026
繰越損益金	△ 7,695,705,987	△ 7,612,020,267	△ 7,317,307,988	△ 7,333,832,370	△ 7,349,815,832	△ 7,275,178,755

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2021年7月20日～2022年1月17日)は以下の通りです。

項 目	2021年7月20日～ 2021年8月17日	2021年8月18日～ 2021年9月17日	2021年9月18日～ 2021年10月18日	2021年10月19日～ 2021年11月17日	2021年11月18日～ 2021年12月17日	2021年12月18日～ 2022年1月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	50,633,119円	50,935,541円	54,507,482円	48,506,105円	48,268,134円	47,599,938円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	555,121,521円	550,602,913円	542,622,966円	534,608,935円	528,419,543円	523,562,835円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	60,379,833円	67,397,439円	74,521,691円	85,634,388円	91,575,430円	97,913,953円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	666,134,473円	668,935,893円	671,652,139円	668,749,428円	668,263,107円	669,076,726円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	310円	314円	320円	323円	327円	330円
g. 分配金	42,950,971円	42,593,725円	41,968,149円	41,338,957円	40,850,352円	40,463,865円
h. 分配金(1万円当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

	第137期	第138期	第139期	第140期	第141期	第142期
1 万口当たり分配金 (税込み)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

○お知らせ

約款変更について

2021年7月20日から2022年1月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA
	ルクセンブルグ籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	利子収入などを中心とする安定的な信託財産の成長をめざします。
主な投資対象	ソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国際経済・国際政治の動向に大きな影響を与えると見られる国や地域の通貨建てのソブリン債券(国債、州政府債、政府保証債、国際機関債など)を主要投資対象とします。 ・通貨選定にあたっては、金利水準を重視し、経済情勢、政治の安定性、市場の流動性なども考慮します。 ・原則として、買付時においてBBB(Baa)格相当以上の格付が付与されているソブリン債券に投資します。ただし、債務履行能力が高いと運用会社が判断した場合は、BB(Ba)格相当以下の国や地域のソブリン債券に投資する場合があります。 ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行ないません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資は行ないません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配	原則として、毎月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.31%(国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
投資顧問会社	日興アセットマネジメント ヨーロッパリミテッド
管理会社	日興AMルクセンブルグ・エス・エイ
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年2月末日

◆投資明細表

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2021年2月28日現在
(単位：日本円)
市場価格

通貨	額面金額	銘柄	純資産に占める 割合 (%)		
		A 証券取引所に上場している、または他の規制市場で取引されている譲渡可能証券 債券 (98.2%)			
		カナダ (32.3%)			
		社債等 (11.6%)			
		Canada Housing Trust No 1			
CAD	5,000,000	1.90% due 09/15/2026	5.7%	JPY	433,683,491
CAD	5,000,000	2.55% due 03/15/2025	5.9		445,896,320
		社債等合計			879,579,811
		政府債 (6.7%)			
		Canadian Government Bond			
CAD	1,240,000	1.50% due 09/01/2024	1.4		107,213,041
CAD	2,500,000	2.75% due 12/01/2048	3.4		252,059,112
CAD	1,300,000	5.75% due 06/01/2029	1.9		146,868,824
		政府債合計			506,140,977
		州債・地方債 (14.0%)			
		Province of British Columbia Canada			
CAD	2,000,000	2.95% due 12/18/2028 ⁽¹⁾	2.4		182,590,406
CAD	1,000,000	3.20% due 06/18/2044 ⁽¹⁾	1.3		94,273,471
CAD	2,000,000	5.70% due 06/18/2029	2.9		218,065,967
		Province of Quebec Canada			
CAD	6,290,000	3.00% due 09/01/2023	7.4		560,198,168
		州債・地方債合計			1,055,128,012
		カナダ合計			2,440,848,800
		ドイツ (3.1%)			
		社債等 (3.1%)			
		Kreditanstalt fuer Wiederaufbau			
MXN	43,600,000	7.50% due 12/07/2023	3.1		236,028,194
		社債等合計			236,028,194
		ドイツ合計			236,028,194
		インドネシア (20.0%)			
		政府債 (20.0%)			
		Indonesia Treasury Bond			
IDR	40,000,000,000	7.38% due 05/15/2048	4.0		304,229,850
IDR	67,000,000,000	7.50% due 05/15/2038	6.8		513,954,301
IDR	5,000,000,000	7.75% due 04/15/2031	0.5		40,016,546
IDR	60,000,000,000	8.25% due 05/15/2036	6.5		490,460,697
IDR	20,000,000,000	8.38% due 03/15/2034	2.2		165,088,817
		政府債合計			1,513,750,211
		インドネシア合計			1,513,750,211
		メキシコ (21.3%)			
		政府債 (21.3%)			
		Mexican Bonos			
MXN	102,000,000	7.75% due 05/29/2031	7.6		578,768,551
MXN	70,000,000	8.50% due 05/31/2029	5.5		416,944,676
MXN	24,000,000	8.50% due 11/18/2038	1.9		141,211,717
MXN	71,200,000	10.00% due 11/20/2036	6.3		472,702,566
		政府債合計			1,609,627,510
		メキシコ合計			1,609,627,510
		韓国 (4.4%)			
		社債等 (4.4%)			
		Export-Import Bank of Korea			
IDR	16,000,000,000	8.00% due 05/15/2024	1.7		128,009,870
IDR	27,000,000,000	8.40% due 11/30/2021	2.7		205,981,108
		社債等合計			333,990,978
		韓国合計			333,990,978
		国際機関 (17.1%)			
		社債等 (17.1%)			
		Asian Development Bank			
MXN	25,000,000	0.50% due 07/11/2023	1.5		113,234,713

通貨	額面金額	銘柄	純資産に占める割合 (%)	2021年2月28日現在 (単位: 日本円) 市場価格	
		債券 (98.2%) (続き)			
		国際機関 (17.1%) (続き)			
		社債等 (17.1%) (続き)			
IDR	23,000,000,000	European Bank for Reconstruction & Development 7.50% due 05/15/2022	2.3%	JPY	174,261,332
IDR	19,100,000,000	European Investment Bank 5.20% due 03/01/2022	1.9		140,984,510
IDR	46,000,000,000	7.40% due 01/24/2022	4.5		347,160,361
MXN	8,610,000	Inter-American Development Bank 5.64% due 05/25/2023 ⁽¹⁾	0.6		43,941,919
MXN	3,065,000	7.25% due 06/10/2021	0.2		15,735,279
MXN	53,141,000	7.50% due 12/05/2024	3.8		286,898,773
MXN	8,300,000	International Bank for Reconstruction & Development 0.50% due 08/13/2032 ⁽¹⁾	0.3		22,437,115
MXN	20,000,000	7.00% due 01/24/2023	1.4		105,689,463
MXN	4,200,000	International Finance Corp. 4.75% due 04/29/2021	0.3		21,302,717
MXN	4,300,000	Nordic Investment Bank 5.40% due 12/23/2022 ⁽¹⁾	0.3		22,150,719
		社債等合計			<u>1,293,796,901</u>
		国際機関合計			<u>1,293,796,901</u>
		債券合計 (取得原価7,823,749,732円)			<u>7,428,042,594</u>
		証券市場に上場している、または他の規制市場で取引されている 譲渡可能な証券合計 (取得原価7,823,749,732円)	98.2%	JPY	<u>7,428,042,594</u>
		負債額を超過する現金およびその他の資産	1.8		<u>134,442,423</u>
		純資産合計	<u>100.0%</u>	JPY	<u>7,562,485,017</u>

⁽¹⁾ その他の規制市場で取引されている譲渡可能証券である。その他のすべての投資は公式の取引所に上場されている譲渡可能証券である。

通貨表示

CAD	カナダ・ドル
IDR	インドネシア・ルピア
JPY	日本円
MXN	メキシコ・ペソ

◆損益計算書および純資産変動計算書

ワールド・コア・ソブリン・ボンド・ファンド クラスA

2021年2月28日に
終了した会計年度
(単位：日本円)

投資純利益：

収益：

受取利息

JPY 380,516,070

収益合計

380,516,070

費用：

預託費用

4,422,272

管理手数料

5,124,492

取引費用

784,613

年次税

761,521

運用報酬

3,205,906

監査報酬

1,002,878

名義書換代理人報酬

836,623

弁護士報酬

779,746

投資運用報酬

17,632,485

その他費用

1,092,150

費用合計

35,642,686

投資純利益

344,873,384

実現および未実現純利益（損失）：

投資に係る実現純（損）益

(316,072,665)

外国為替取引に係る実現純（損）益

(19,222,345)

投資に係る未実現評価益の純変動額

270,668,468

外国為替取引に係る未実現評価益の純変動額

9,068,825

投資に係る実現および未実現純（損）益

(55,557,717)

運用による純資産の純増加額

289,315,667

資本株式取引による純資産の減少額

(877,526,335)

受益者に対する分配決定額

(800,729,544)

純資産の減少額合計

(1,388,940,212)

純資産：

期首

8,951,425,229

期末

JPY 7,562,485,017

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2021年10月12日）
（2020年10月13日～2021年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率		
8期(2017年10月12日)	円		%	%	百万円
	10,038		△0.0	—	661
9期(2018年10月12日)	10,032		△0.1	—	595
10期(2019年10月15日)	10,028		△0.0	—	586
11期(2020年10月12日)	10,025		△0.0	—	888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	—	1,125

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額	
		騰 落	率
(期 首)	円		%
2020年10月12日	10,025		—
10月末	10,025		0.0
11月末	10,025		0.0
12月末	10,024		△0.0
2021年1月末	10,024		△0.0
2月末	10,024		△0.0
3月末	10,024		△0.0
4月末	10,024		△0.0
5月末	10,024		△0.0
6月末	10,024		△0.0
7月末	10,024		△0.0
8月末	10,023		△0.0
9月末	10,023		△0.0
(期 末)			
2021年10月12日	10,023		△0.0

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年10月13日～2021年10月12日)

基準価額の推移

期間の初め10,025円の基準価額は、期間末に10,023円となり、騰落率は△0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値下がり要因>

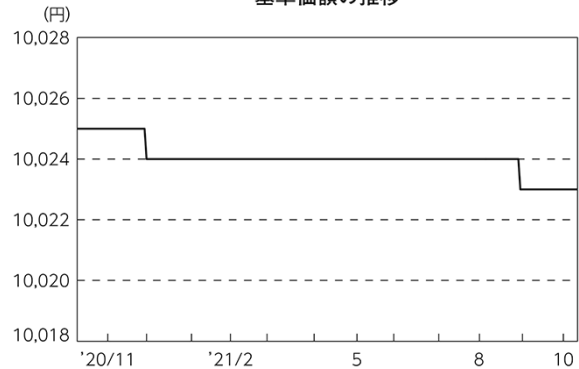
- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.02%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券(TB)3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.09%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.11%近辺で期間末を迎えました。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2020/10/12	2020/10/13	2021/08/31	2021/10/12
10,025円	10,025円	10,023円	10,023円

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○売買及び取引の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

○利害関係人との取引状況等

(2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年10月13日～2021年10月12日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年10月12日現在)

2021年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2021年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 1,128,083	% 100.0
投資信託財産総額	1,128,083	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年10月12日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A)	資産			1,128,083,201
	コール・ローン等			1,128,083,201
(B)	負債			2,243,646
	未払解約金			2,243,348
	未払利息			298
(C)	純資産総額(A-B)			1,125,839,555
	元本			1,123,207,498
	次期繰越損益金			2,632,057
(D)	受益権総口数			1,123,207,498口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,023円

(注) 当ファンドの期首元本額は886,572,186円、期中追加設定元本額は632,898,400円、期中一部解約元本額は396,263,088円です。

(注) 2021年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	813,604,225円	・インデックスファンドMLP (1年決算型)	1,009,598円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	144,398,955円	・日興マナー・アカウント・ファンド	1,004,347円
・グローバルC o C o債ファンド 円ヘッジコース	23,567,575円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	767,047円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マナー・ファンド)	17,087,728円	・日興グラビティ・ファンド	728,091円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	13,715,420円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	617,119円
・エマージング・プラス(マナー・ファンド)	13,252,514円	・グローバルC o C o債ファンド 新興国高金利通貨コース	378,361円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	9,595,620円	・グローバルC o C o債ファンド 先進国高金利通貨コース	334,265円
・インデックスファンドMLP (毎月分配型)	7,918,306円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	328,616円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	7,756,251円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	315,851円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	7,325,378円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	307,458円
・世界標準債券ファンド	6,868,613円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	214,081円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	6,581,650円	・グローバル株式トップフォーカス	213,583円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	154,691円
・グローバルC o C o債ファンド ヘッジなしコース	5,749,668円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	4,825,092円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォーカス(毎月分配型)	91,586円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	4,759,510円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	71,604円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	4,256,314円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	3,233,491円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	3,094,075円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,445,197円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	19,904円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,898,319円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・グリーン世銀債ファンド	1,880,386円	・DC世界株式・厳選投資ファンド	9,977円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	1,463,018円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・SMB C・日興 世銀債ファンド	1,404,460円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・オーストラリア・インカム株式ファンド(毎月分配型)	1,330,360円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・ノーロード・インド株式フォーカス(毎月分配型)	1,276,352円		
・エマージング・プラス・円戦略コース	1,174,786円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0023円です。

○損益の状況

(2020年10月13日～2021年10月12日)

項	目	当	期
(A)	配当等収益		△ 135,779
	受取利息		277
	支払利息		△ 136,056
(B)	当期損益金(A)		△ 135,779
(C)	前期繰越損益金		2,192,863
(D)	追加信託差損益金		1,525,067
(E)	解約差損益金		△ 950,094
(F)	計(B+C+D+E)		2,632,057
	次期繰越損益金(F)		2,632,057

(注) 損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年10月13日から2021年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。